

【市政情報室・ホームページ用】

平成 1 9 年千葉市教育委員会会議  
第 1 2 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成19年千葉市教育委員会会議第12回定例会会議録

日時 平成19年12月19日(水)

午後2時00分開会

午後2時55分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 津田 英彦  
 委 員 奥山 福子  
 委 員 竹蓋 幸生  
 委 員 川島 義美  
 委 員 岩沼 静枝  
 教 育 長 飯森 幸弘

出席職員	教 育 次 長	海宝 和雄	保 健 体 育 課 長	嶋田 信昭
	教 育 総 務 部 長	大野 湊	教 育 セ ン タ ー 所 長	五十嵐一博
	学 校 教 育 部 長	岩切 裕	養 護 教 育 セ ン タ ー 所 長	三橋 雅夫
	生 涯 学 習 部 長	宮野 光正	生涯学習部参事(生涯学習振興課長事務取扱)	本庄 賢一
	稲毛高等学校長・同附属中学校長	柴寄 光夫	社 会 体 育 課 長 補 佐	田中信治郎
	教育総務部参事(総務課長事務取扱)	武田 昇	青 少 年 課 長	村松 好晴
	企 画 課 長	山崎 正義	中 央 図 書 館 長	田口 幸男
	学 校 財 務 課 長	豊田 英男	総 務 課 総 括 主 幹	原 誠司
	学 校 施 設 課 長	豊田 滋貴	学 事 課 調 整 主 幹	白鳥 洋二
	学 事 課 長	荒川 眞治	生涯学習振興課調整主幹	田中晋二郎
	教 職 員 課 長	時田 猛	総 務 課 主 幹	伊藤 太一
	指 導 課 長	小池 公夫	学 事 課 指 導 主 事	鈴木 誠一

書 記	総 務 課 長 補 佐	大崎 賢一	総 務 課 副 主 査	小池 正彰
	総 務 課 総 務 係 長	藤代 真史	総 務 課 主 事	河瀬 伸也
	総 務 課 人 事 係 長	内山 健	総 務 課 主 事	犬飼 綾
	総 務 課 経 理 係 長	高橋 義浩		

- 1 開会  
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
津田委員長より竹蓋委員を指名
- 4 会期の決定  
平成19年12月19日(1日間)ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 議事の概要
  - (1) 非公開事項の決定  
議案第51号から議案第52号までを非公開審議とする旨決定
  - (2) 報告事項
    - 報告事項(1) 平成19年第4回千葉市議会定例会について  
総務課長より報告があった。
    - 報告事項(2) 町の区域及び名称の変更に伴う条例・規則の改正について  
学事課長より報告があった。
    - 報告事項(3) 平成20年度千葉市立稲毛高等学校附属中学校入学者選抜の志願者数について  
学事課長より報告があった。
    - 報告事項(4) 平成19年度教育研究大会等の実施状況について  
指導課長より報告があった。
    - 報告事項(5) インフルエンザ等の流行状況と対応について  
保健体育課長より報告があった。
    - 報告事項(6) 千葉市立小学校の「30人31脚全国大会2007」への出場について  
保健体育課長より報告があった。
    - 報告事項(7) 第32回サンスポ千葉マリンマラソンについて  
社会体育課長補佐より報告があった。
  - (3) 議決事項
    - 議案第51号 県費負担教職員の人事について  
教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
    - 議案第52号 県費負担教職員の処分について

教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(4) 発言の要旨

報告事項(1) 平成19年第4回千葉市議会定例会について

津田委員長 総務課長、報告をお願いします。

総務課長 報告事項(1)「平成19年第4回千葉市議会定例会について」報告します。第4回千葉市議会定例会は、11月29日から12月17日までの会期で、議案質疑、経済教育委員会、代表質問、一般質問等が行われました。まず、教育委員会に係わる上程議案の審議状況ですが、今回、教育委員会の上程議案がないことから、議案質疑においては、他局の上程議案に関連したのものも含めて教育委員会に対する質疑はありませんでした。また、経済教育委員会についても、教育委員会に関連する付託案件はありませんでした。次に、12月6日から10日にかけて行われた代表質問ですが、6党派全てから、教育委員会に対する質問がありました。主な質問の内容は、「千葉市学校教育推進計画」、「学校適正配置」、「特別支援教育」、「全国学力・学習状況調査」、「幼稚園教育」などです。次に12月10日から17日にかけて行われた一般質問ですが20議員が質問を行い、内14議員から教育委員会に対する質問がありました。主な質問の内容としては、「情報教育」、「就学援助」、「学校給食」、「幼稚園就園奨励費」、「教育現場における情報セキュリティ対策」などです。

報告事項(2) 町の区域及び名称の変更に伴う条例・規則の改正について

津田委員長 学事課長、報告をお願いします。

学事課長 報告事項(2)「町の区域及び名称の変更に伴う条例・規則の改正について」報告します。「町の区域及び名称の変更に伴う関係条例の整理に関する条例」が平成19年11月30日付けで公布、平成19年12月1日付けで施行されました。千葉市教育委員会組織規則第12条第1項第12号に基づき、該当区域の町の区域の変更に伴い改正の必要がある教育委員会規則について、教育長の専決により一部改正を行いましたので、報告します。一部改正の内容ですが、若葉区「谷当町」及び「下田町」の各一部区域を、「御成台4丁目」とする町名変更が実施されたことに伴い、「千葉市立小学校、中学校及び特別支援学校の通学区域に関する規則」について、別表第1の千葉市立更科中学校及び更科小学校の通学区域の欄中、「下田町」の次に「御成台4丁目」を加え、別

表第3中「御成台1～3丁目」を「御成台1～4丁目」に改めました。なお、今回の改正は、町名変更に伴う表示の変更のみで、学校の位置や通学区域に変更はありません。

報告事項(3) 平成20年度千葉市稲毛高等学校附属中学校入学者選抜の志願者数について

津田委員長 学事課長、報告をお願いします。

学事課長 報告事項(3)「平成20年度千葉市立稲毛高等学校附属中学校入学者選抜の志願者数について」報告します。平成20年度千葉市立稲毛高等学校附属中学校入学者選抜の出願受付を12月17日(月)、18日(火)に行い、志願者数は男子456名、女子546名、合計1,002名となりました。募集定員は男女とも40名ずつ、合計80名であり、志願倍率は男子11.4倍、女子13.7倍、全体平均で12.5倍です。参考までに平成19年度の志願倍率は、男子17.4倍、女子23.5倍、全体で20.4倍でした。平成20年度の志願者数はかなり減少していますが、これは、平成19年度の志願倍率が20.4倍と高かったことの影響のほか、表4の学校説明会参加者数及び志願率から推測して、開校2年目となり、「真の国際人の育成」という学校の特色が理解され、英語を勉強したいという意味を持った児童の出願に絞られてきたためと思われます。また、表2にあるように、県立千葉中学校の志願者数は2,165名、倍率は27.1倍という状況ですが、県立千葉中学校の受検生は、県内・都内の有名私立中学校を併願する者や、県立千葉高等学校に入学したいと考えている者であり、一方、市立稲毛高等学校附属中学校の受検生は、公立の中高一貫校を第一志望とし、英語を学びたいという児童の志願が多く、双方は受検者層が異なっていると推測されます。平成19年度において、全国の中高一貫校で、受検倍率が10倍を超えた学校は2校だけであり、平成19年度の20.4倍という倍率は非常に高い数字であることがわかります。市立稲毛高等学校附属中学校では、学校説明会、学校見学会、文化祭の公開などの活動や、ホームページ、「教育だよりちば」を通じた広報活動などによって、生徒募集に努めており、平成20年度の12.5倍という数字も決して低い倍率ではなく、むしろ市立稲毛高等学校附属中学校に対する期待の高さを伺うことのできる数字であると考えます。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

奥山委員 市立高等学校2校それぞれについて、特色が明確になってきましたが、これは市民のニーズに適していたということが分かってきたのではないのでしょうか。これを継続し、今の時代に合った学校を作っただけだと、他市町村に対してもよい参考となると思います。

学事課長 市立稲毛高等学校附属中学校は、真の国際人の育成を目標に進めています。初年度ということもあり、成果がすぐに現れるということではありませんが、今年度行ってきた教育活動が市民の方に理解されていると受け止めています。生徒も非常に意欲的に取り組んでおり、保護者の関心も高いと聞いています。これから私どもも努力していきますし、生徒たちもその期待に応えようとしており、また、市民の期待も高いと考えています。

津田委員長 もう1年ほど経過しないことには、本当の成果は出てこないだろうとは思いますが、良い方向に進んでいくことを期待したいと思います。

#### 報告事項(4) 平成19年度教育研究大会等の実施状況について

津田委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 報告事項(4)「平成19年度教育研究大会等の実施状況について」報告します。今年度は、現行の学習指導要領が全面実施されてから6年目を迎え、小学校でもすべての学年が、「生きる力」の育成を基本理念とした学習指導要領の下で育ってきたこととなります。これまで、本市では、「わかる授業、楽しい教室、夢広がる学校」づくりを掲げ、「確かな学力」の育成に向けた諸施策を展開してきましたが、この間、学校教育の課題解明、さらには次代を担う子どもたちを育むために、毎年20校以上の研究指定校、さらに約70校の研究推進校等を指定し、研究と実践を進めてきました。今年度は、そのような成果を発表する研究指定校の研究発表に加え、全国規模もしくは関東甲信越地区規模の研究大会が本市で実施され、大変大きな成果をあげていますので、併せて報告します。大会名や研究主題、研究内容、実施日等については、資料に示したとおりです。先ず、千葉県では初めて実施される全国中学校社会科研究大会ですが、この大会が千葉県で行われたのは初めてであり、緑町中学校や轟町中学校を会場に2日間で1,000名を超える参加者を集めて行われました。次に、関東甲信越地区及び千葉県の家庭科教育研究大会と本市の研究指定校の研究報告会が、瑞穂小学校で行われました。家庭科だけで

なく、生活科や総合的な学習の時間の授業が、全学年で展開されました。以上の2つの研究大会については、「教育だよりちば」68号の2ページ目に紹介されています。また、泉谷中学校が「『科学が好きな子どもを育てる取組み』を通した誇れる学校づくり」の実践が評価され、「ソニー子ども科学教育プログラム」最優秀プロジェクト校を受賞し、その成果を発表する全国大会を開催して、理科をはじめ全教科での授業展開を行いました。いずれの大会でも、参加者から、授業の質の高さや子どもたちの学びの姿に高い評価が寄せられています。また、研究指定校の内、今年度は9校が研究報告会を行い、2年間の研究成果を市内の教職員に対して報告しました。学校名や研究主題、主な研究報告会の内容等についても、資料に示してあります。以上のような研究指定校の取組みや、推進校の確かな実践、教育研究大会における授業研究や成果発表は、その成果を各学校が共有することで、千葉市の教育課題の解明とこれからの学校教育の基盤づくりとなりますので、今後もこれらの取組みを積極的に進めていきたいと考えています。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

奥山委員 直接拝見させていただいたわけではありませんが、1,000人以上の教育関係者が集まれたということは、きっと、発表内容に共感された方や新たに何かに気づくなど、影響を受けた方も多かったのではないかと思います。感想としてお話ししたいと思いますが、「義務教育は昔と今と変わらない」という考えの方もいますが、研究テーマの内容を見ますと、「国際化」、「情報化」、「生活者の時代」、「男女共同参画の推進」などの、我々を取り巻く社会情勢から影響を受けた内容であり、社会とつながりのある教育に変わってきたのではないかと思います。研究成果を発表する先生も、昔と比べ親しみやすく、全体の雰囲気も明るくなってきたのではないかと想像されます。身体的な状況も含め、子どもたちの、社会に対応する力が弱まってきたのではないかという視点が、このような研究テーマとなって現れてきたのではないかと思います。

指導課長 各研究大会、各研究指定校の研究テーマについては、大きな社会の動き、教育の改革等国の施策、各学校での教育目標、そして何よりも、目の前にいる子どもたちを見て、こういう子どもを育てたいという気持ちで研究テーマを作っています。また、研究

することによって、子どもたちも成長しますが、教えている教員もそれを通して大変大きく力をつけていくということがあります。今後も、力を入れていきたいと考えています。

川島委員 小学校の英語教育のあり方について、専門家ではない見地からではありますが、体験からお話しします。稲毛小学校では、1年生から6年生まで、色々な指導法で英語教育に取り組んでいます。授業のはじめから終わりまで、体全身を使って教えるため、それは大変な労力だそうです。これからは全ての小学校で英語教育が始まりますので、教職員の負担を軽減する意味でも、専門家だけではなく、地域からも進んで参加・協力できるような形で英語教育のあり方を考えてほしいと思います。

報告事項(5) インフルエンザ等の流行状況と対応について

津田委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 報告事項(5)「インフルエンザ等の流行状況と対応について」報告します。厚生労働省の発表によると、今季のインフルエンザの流行は、この20年で最も早く始まっているとのこと。千葉市立学校においても、10月22日に中央区の小学校で初発患者が報告され、11月6日には中央区の小学校で、今季初のインフルエンザによる学級閉鎖措置が採られました。市内のインフルエンザによる学級閉鎖時期としては、例年よりも2か月以上早い状況です。また、千葉市立学校における臨時休業や登下校の時間調整等の措置状況は、12月12日現在の累計で、学年・学級閉鎖を行った小学校が8校10学級、登下校の時間調整を行った小学校が30校74学級です。各学校においては、地域におけるインフルエンザの流行状況等をふまえ、学校医に相談の上、時期を逸することなく迅速に措置を行い、適切に対応するよう指導しています。また、今季は流行の立ち上がりから、早期に予防対策を講じることができるよう、各学校には10月23日付けで「学校におけるインフルエンザ様疾患の予防について」及び「今冬のインフルエンザ総合対策について」を通知し、児童生徒に対して、うがいや手洗いの大切さ、咳エチケットの勧奨、早期のワクチン接種の勧奨等を指導しました。その他に、庁内ホームページにインフルエンザに関する情報等を掲載した専用ページを開設し、毎日更新を行い、最新情報を各学校へ提供しています。今後、気温が下がり流行のピークを迎えることが予想されますので、引き続き学校において適切な対応が行えるよう指導していき



いと思います。続いて、今冬流行中の感染症として、感染性胃腸炎の流行状況とその対応について報告します。千葉市における感染性胃腸炎の冬季流行は11月末頃から急激に立ち上がり、現在増加傾向にあります。千葉市内でも12月3日に稲毛区の小学校で1件、12月7日に緑区の小学校で1件、合計2件の集団発生が報告されています。年末に向けて更に流行の拡大が懸念されていることから、各学校へは衛生管理及び健康観察の徹底、手洗いの励行、嘔吐物の処理・消毒方法等を具体的に指導しています。また、千葉市保健所との連携を密にし、患者を早期に把握し、感染経路を遮断する対策を実施しているところです。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

津田委員長 流行の立ち上がりが早いからといって、早く収束するわけはありませんので、ぜひ今後も指導を徹底してください。

奥山委員 一般に、予防注射をするという意識が高まっているようですね。

津田委員長 確かに、予防注射を接種する人は増えています。15歳以下にタミフルが使用できなくなりましたので、治癒状況がどうなるのかということは気がかりです。やはり、予防を行うことが最も重要だと思います。

報告事項(6) 千葉市立小学校の「30人31脚全国大会2007」への出場について

津田委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 報告事項(6)「千葉市立小学校の「30人31脚全国大会2007」への出場について」報告します。弥生小学校6年1組の児童が、9月29日(土)にパシフィコ横浜で開催された南関東地区大会に参加し、30チームの中で見事優勝し、全国大会への出場権を得ました。その後、11月11日(日)に全国の予選を勝ち抜いた27チームが横浜アリーナに集まり、全国大会が開催されました。弥生小学校6年1組の児童は、1回戦で山形県代表の日新小学校と対戦し、南関東地区大会で優勝したタイム9秒87を大きく上回る、9秒58を出しましたが、残念ながら、わずかの差で1回戦敗退という結果となりました。優勝は熊本県の八代小学校でした。なお、大会結果については、12月2日(日)、9日(日)にテレビ朝日で放映され、弥生小学校が優勝した南関東地区大会の様子が紹介されました。弥生小学校6年生の児童は、今回の貴重な経験をもとに、様々な場面で大いに頑張ってくれる

ものと思います。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

岩沼委員 この番組は、力を合わせることや、共に助け合うことを学べ、大変感動して拝見しましたが、これに弥生小学校が取り組んだのは先生による提案なのか、それとも児童からの要望なのか、どちらでしょうか。

保健体育課長 弥生小学校は3年連続で出場しています。弥生小学校は規模の小さな学校ですので、学校の中を活性化させようという意味で、最初は先生からの発案だったのではと推測しますが、今は3年続けて出場していますので、児童たちの中に、6年生になったら先輩に続いて挑戦していこうという雰囲気が生まれていることも確かです。

#### 報告事項(7) 第32回サンスポ千葉マリンマラソンについて

津田委員長 社会体育課長補佐、報告をお願いします。

社会体育課長補佐 報告事項(7)「第32回サンスポ千葉マリンマラソンについて」報告します。本大会は、昭和51年に開催されて以来、今や本市の新春恒例のビッグ・スポーツ・イベントとして定着しています。昨年度は日本各地から12,433名の参加者がありました。開催日は、平成20年1月20日(日)雨天決行で、9時30分の「5キロメートル男女の部」より随時スタートします。コースは、海浜からのさわやかな潮風を受け、千葉マリンスタジアムから稲毛海浜公園内遊歩道を駆け抜ける、平坦で走りやすいシーサイドコースとなります。なお、本大会は、公式競技としての「日本陸上競技連盟公認のハーフマラソン」を開催するとともに、2キロからハーフマラソンまで全15種目の競技を行い、子どもから高齢者まで、それぞれのレベルに合わせて種目を選んで参加できるマラソン大会です。前回の第31回大会ではハーフマラソンの部で係員の誘導ミスがありましたが、今大会は審判体制の強化を図るなど万全を期しています。また、今回も大会ゲストとして佐倉アスリート倶楽部の小出義雄代表をお迎えし、スターターや表彰式のプレゼンターとして、大会を盛り上げていただく予定です。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

奥山委員 名称についてですが、「サンスポ千葉マリンマラソン」という名称になったのは途中から変わったのではなかったでしょうか。

社会体育課長補佐 第1回大会から第14回大会までは、「サンスポ千葉マラソン」という名称でしたが、平成3年の第15回大会からは、スタート

地点が千葉マリスタジアムとなったことなどから、名称も「サ  
ンスポ千葉マリンマラソン」と変更されました。

議案第51号 県費負担教職員の人事について

委員 長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 議案第51号「県費負担教職員の人事について」説明します。

千葉市教育委員会組織規則第8条第5号の規定に基づき議決を  
求めるものです。平成20年1月1日付けで「千葉市立瑞穂小学  
校教頭 三浦 信宏」を「千葉市立泉谷小学校校長」として配置  
換え昇任し、その後任として「千葉市立高洲第三小学校教諭 森  
健」を「千葉市立瑞穂小学校教頭」として配置換え昇任いたしま  
す。従って、泉谷小学校には、配置上2名の校長が在籍すること  
となります。なお、これらの人事発令については、今回発令した  
「三浦 信宏」を、在外教育施設である「中国深心日本人学校」  
へ、校長として派遣することに伴い、発令するものです。

議案第52号 県費負担教職員の処分について

委員 長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 議案第52号「県費負担教職員の処分について」説明します。

千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定に基づき、議決を  
求めようとするものです。被処分者所属、職及び氏名「千葉市立  
小学校 教諭」、処分内容「懲戒免職」、処分  
年月日「平成19年12月19日」です。処分理由は、「被処分  
者は、平成19年12月8日(土)、居酒屋で午後7時頃から翌  
日の午前1時ないし2時頃まで飲酒していた。その後、被処分者  
は午前6時頃自家用車を運転中、の道路端のフェンス  
に衝突する物損事故を起こし、事故発生後警察への通報を行わず、  
車をそこに放置し帰宅した。午前8時30分頃、近隣住民から通  
報を受けた千葉 警察署員が来訪し、検査したところ、呼気中1  
リットルあたり0.4ミリigramのアルコールが検知され、その  
後の事情聴取の結果、酒気帯び運転及び安全運転義務違反・事故  
不申告の通告を受けた。このような行為は、学校教育に対する市  
民の信頼を損ね、その職の信用を著しく傷つけたものであり、教  
育公務員として誠にふさわしくない行為である。よって、地方公  
務員法第33条に違反し、同法第29条第1項第1号及び第3号  
に該当するものと認め、処分するものである。」です。なお、当  
該校の校長については、監督責任として厳重注意とします。

委員 長 質問等を含め、何かありますか。

委員 地方公務員法第33条、同法第29条第1項第1号及び第3号はどのような内容ですか。

教職員課長 地方公務員法第33条は、信用失墜行為の禁止について定められており、「職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。」とあります。同法第29条は懲戒に関わる内容を定めており、同条第1項第1号から第3号に該当する場合は、懲戒処分をすることができるとの規定であり、第1号は「この法律若しくは第五十七条に規定する特例を定めた法律又はこれに基く条例、地方公共団体の規則若しくは地方公共団体の機関の定める規程に違反した場合」、第3号は「全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあつた場合」とあります。

委員 飲酒について、再三に渡って注意を行っているとは思いますが、どのように注意を喚起していますか。

教職員課長 今年度は、飲酒運転を含めた綱紀の保持を喚起する内容の通知を、夏季休業前、秋季休業前、冬季休業前、4月1日、10月1日の計5回行っており、注意を喚起しています。

委員 再三に渡り通知を行っても、処分者が出てしまう訳ですが、注意喚起の通知に加え、例えば、運転代行を使う、休息を取っても飲酒運転となりうる等、飲酒後に行動するためのステップを簡単にまとめたようなものを提唱すべきと思います。

教職員課長 飲酒運転を防止する対策として、各学校において、飲酒を伴う会合がある日には必ず車を置いてくる、もし当日に車で出勤した場合には鍵を預かる、帰宅方法を確認する等の取組みを行うよう、指導しております。しかし、今回の案件は休みの日に発生したものであるため、こうした学校での取組みは生かしきれず、本人の、飲酒運転に対する認識の甘さが出てしまった結果であるといえます。

委員 人身事故にならなかったことは幸いですが、やはり、事故不申告ということは、相当に後ろ暗い気持ちがあったためであろうと思われます。大変残念なことです。運転代行の件ですが、最近タクシー会社が行っている場合もあるそうです。一般的に値段が高いイメージのあるものですが、タクシーとほとんど変わらない料金で利用できるということも伺っています。そのような情報も、飲酒運転防止の対策として指導する中に盛り込んではいかがでしょうか。

教 育 長 このたびは皆様にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。平成19年3月にも飲酒運転の事件がありましたが、またも同じ飲酒運転が発生してしまいました。明日12月20日(木)臨時の校長会を開催し、ただ今ご指摘のあった内容を周知し、すぐに各学校において職員会議を開き、飲酒に関する様々な資料を提示したうえで説明を行い、全教職員の飲酒運転防止の意識の徹底を図ります。教育委員、市民、そして児童・生徒に対し、多大なご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。教育委員会全力を挙げて、今後の再発防止に取り組んでいく所存です。

## 7 その他

(1) 末広中学校の「生命(いのち)の授業」について岩沼委員より次のとおり報告があった。

岩 沼 委 員 末広中学校で行われている「生命(いのち)の授業」を拝見しました。これは、末広中学校が、長年に渡り地域や父兄、助産師と協力して作り上げているものです。思春期を題材としたものは、大概、性教育に特化しがちですが、そうではなく、思春期を生命の流れの中のひとつという捉え方をした、すばらしい授業でした。授業の内容は、例えば、助産師の方を招き、赤ちゃんは自分の意思で頭の形を変えながら生まれてくる等、普通では分からないようなエピソードを絡めたお話をしていただいたり、臨月を迎えたお母さんや赤ちゃんに協力していただき、臨月を迎えたお母さんのおなかを触ったり、赤ちゃんに触れ合ったりするというものでした。少子化により、子どもたちの周りに妊婦さんがおらず、触れ合う機会が少なくなる中で、生命というものを教えるいい機会になっていると思いました。それと共に、子育てというものは楽しいだけでなく、精神面・財政面等の様々な困難があり、本当に準備ができた状態でないと踏み出してはならないということが、力強く語られていました。また、それらは暗い教室で語られるものではなく、楽しく明るい雰囲気、生命というものに素直に感動しながら、学ばせるものでした。学校は、色々な角度から授業を作っており、また、安全面等の事前の調査・準備もしっかりと行っていると見受けられました。長年の授業を通して培われたものは、今や学校の大きな力になっていると感じました。授業に協力された助産師の方からお話を伺うと、日頃からこうした授業への取り組みを真剣に行っている学校でないと、授業の中でふざけてしまったりと、学習に真剣に取り組むことができないこともある

そうです。児童が目を輝かせながら授業に取り組んでいることは印象的だった、ということ伺いました。各学校において様々な取り組みを行っている中、今回拝見したのはその一つではありますが、他の学校の様子も大変興味深く、ぜひ今後、拝見したいと思います。

(2) 次回平成20年第1回定例会は1月16日(水)午後2時00分より開催することと決定した。

## 8 閉会

津田委員長より閉会を宣言